

審議会等の会議結果報告書

課所名	生涯学習課 公民館
-----	-----------

会議名	令和7年度第2回諏訪市公民館運営審議会
-----	---------------------

開催日時	令和7年12月11日(木) 13時30分～15時00分
------	-----------------------------

開催場所	諏訪市公民館 講義室
------	------------

出席者	(委員) 関委員長、田中副委員長、伊藤委員、印南委員、中嶋委員、岩波委員 (欠席) 進藤委員、筒井委員 (事務局) 小林生涯学習課長、友野公民館長、野村主査、市川主査、井上主任
-----	--

資料	資料1 地区公民館 館長、主事について 資料2 地区公民館 館長・主事アンケート 資料2-2 地区公民館アンケート 自由回答 資料3 各地区公民館実態事業一覧 資料4 公民館事業の実施実績からみる諏訪市公民館利用停止による影響 資料5 社会教育法 公民館
----	--

協議事項及び会議結果 (要旨)

1. 開会

2. 生涯学習課長 あいさつ

3. 会議事項

報告事項報告

(1) 諏訪市文化センター改修工事に伴う諏訪市公民館本館の利用停止について

協議事項

(1) 諮問「集約化に伴う公民館のあり方について」答申に向けた検討

①地区公民館の目的役割と主要事業について (意見交換)

②組織構成の再検討について (意見交換)

(主な質疑)

○ 資料①、館長のほうが主事より報酬が安い理由は。

→ 主事の業務が多いためこの額となっている。

○ これは地区に対してなのか、館長・主事ということでしょうか。

→ 館長・主事は市の非常勤特別職員であり市の業務を行っているため、地区ではなく職員としての業務への支払いになる。

○ 中央地区公民館の活動がない理由は。また報酬は支払われるのか。このような状況でも市公民館として困らないのか。

→ 中央地区公民館の活動がない理由は、個人経営の方が多く地域を跨いだ行事がやりにくい現状からである。

○ 市の公民館は5つある。本館に館長がいて四条例館にはいない。管轄は課長になるのか。

→ 公民館館長が管轄している。

○ 館長が四条例館にいないのはおかしくないということか。

→ 現時点の組織の中ではおかしくないという理解。ただ、公民館機能をそれぞれ強化していくために館長が必要ではないかという理解をしている。

○ 四館と地区館の連携はどのような形になっているか。

→ 四館には会計年度任用職員と社会教育指導員が常時いる。文化祭などの行事は地区と連携をとって合同で開催している。

○ 各館に館長がいたほうがいいのか、必要ないのか。行政の立場でどう考えているか。

→ 地区での活動を活発にすることは非常に大切であるとする。現状、5館と地区館の区分けがはっきりしないところもあるが、館長を置くことによって機能強化になるならば置くことも必要。だが人を置くことは行政的にハードルがある。今困っているかという困ってはいない。

(意見交換)

○ 本来は館長がいて各地区統括するキーマンがいる。それが諏訪にはいない。それでよしとしていいのかを審議会の考え方になっていくと思う。本館の箱物が無くなって、各地域の人材を育ててきちんとした組織を作って浸透させていく必要があるとすれば、館長がいる他の地域から公民館組織の資料等を取り寄せ参考にしたい。

○ 何が欠けているのか、ものさしになるようなものが必要。諏訪市に何が足りていないのか確認が必要。

○ 組織作りが大切。フレイル予防など身近な分館でも高齢者の活動できる持続可能な仕組みが必要。

○ 市民への講座は本館・四館の社会教育指導員が計画している。本館の建物が無くなっても、統括する組織は必要である。

○ 本館が無くなることに危惧する。1番大事なものは、全市民のために公民館活動をどうするかを考える中心にいないといけない。四館は、地域性のある内容をやってもらいたい。四館は4地域に位置するため、本館が無くなったら偏りがある。どうするかみんなで考えてほしい。

○ 本館としてのソフト的な機能、条例館を実施場所として考え、それを統括するようなことを公民館が行っていく、それを組織の考え方の向性として考えている。

○ 本館の講座に参加した、駐車場も広く使いやすかった。本館が無くなり四館へ移行したとき、場所が良く分からない。駐車場はどんな状態か心配、状態を知らない四館へは行かない。

○ 組織図だけ見て言うと、市の条例を変えて5館を無くして各々地区公民館が起動するというのも可能ではないか。

○ 今この機能として市全体の公民館活動をリードしていくものが建物的には無くなる。組織、施設面の考え方と四館はあって上諏訪地区には館が無くなる。新たに上諏訪にも設けて、所属する地区館をリードしていく組織的なことと、人材育成を含め、審議会としてアイデアを出していくことがこれから必要。

○ 地域の人たちが本当に求めていることは何か。役員はやりたくないけど、こんなことがしたい人が集まって活動できるようになれば、自主的に人が集まって活動していくと思う。なかなかそれができるリーダーが足りない。組織を含め、体制をつくるためにリーダーを育成するための講座を本館にやってほしい。

○ やりたくてもリーダーと講師がいない。講師を育てることが大切である。公民館同士も集まっているんなやり方、意見を聞く場があればよいのではないか。

○ 諏訪市公民館活動として、人づくり、拠点、アイデアを審議会で話し合えればよい。「こうあるべき」ではなく、希望も含めて考えていきたい。